



B.LEAGUE 2019-20 SEASON REPORT

JAPAN PROFESSIONAL BASKETBALL LEAGUE

INDEX

MESSAGE	P2
B.LEAGUE 2019-20 SEASON CALENDAR	P3
THE NUMBER OF ATTENDANCE	P4-P5
FULLHOUSE	P6
B.LEAGUE SNS	P7
B.LEAGUE CLUB SNS	P8
B1 SEASON RESULT	P9
B2 SEASON RESULT	P10
B1 LEADERS	P11
B2 LEADERS	P12
B.LEAGUE 2019-20 SEASON MVP/BEST FIVE	P13
B.LEAGUE VARIOUS AWARDS	P14
B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2020	P15
B.LEAGUE HOPE	P16
BASKETBALL DEVELOPMENT	P17
AGAINST COVID-19	P18



B.LEAGUE

MESSAGE



大河正明チェアマンより皆様へ

B.LEAGUEの4thシーズンが終了いたしました。
この2019-20シーズンは新型コロナウイルスの影響により、結果的にシーズンの途中で残りの全試合を中止するなど、大変なシーズンとなりました。

試合の延期、無観客での再開、試合の中止、シーズンの途中終了と先を見通すのが困難な状況の中でできることを模索し、難しい判断が続きましたが、選手やクラブと十分に議論を重ねて進んでいくことができました。試合ができない状況でも応援してくださり、温かい励ましのお言葉をいただいた、ファンの皆様やパートナーの皆様をはじめ、関係するすべての皆様に改めて御礼を申し上げます。

途中終了してしまったシーズンではありますが、この4thシーズンでは試合が行われた第23節までのB1・B2合計の総入場者数が前年比5.5%増、B1の入場者数は11.8%増で推移しておりました。

また、開幕試合として2019年10月3日には川崎ブレイズサンダースvs宇都宮ブレックスを横浜アリーナで実施し、9,514人のお客様にご来場いただきました。2020年1月18日に北海道で行いました「B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2020 IN HOKKAIDO」についても、4年連続でチケットが即日完売するなど、より多くの皆様にB.LEAGUEに触れていただけたのではないかと思います。

バスケットボール界全体としても2019年9月に男子日本代表がワールドカップに出場し、日本国内でも東京2020テストイベントとしての国際試合を実施するなど、たくさんの方にバスケットボールを楽しんでいただき、注目いただく機会が増えておりました。その中で日本代表のメンバーであり、B.LEAGUEの選手である馬場雄大選手がNBAに挑戦しGリーグのテキサス・レジェンズで奮闘する様子は、世界に通用する選手を輩出するというB.LEAGUEのミッションのひとつを体現してくれています。

世界中に広がる新型コロナウイルスの影響は大きく、厳しい状況は続きます。引き続きファンの皆様や選手、関係者の健康を一番に考えながら、状況をしっかりと見極め、今だからこそできることにB.LEAGUEらしくチャレンジしていきたいと考えています。

この度チェアマンを退任することを決め、新たな体制に託してまいります。引き続きバスケットボールで日本を元気にしていくB.LEAGUEにぜひご期待ください。

B.LEAGUE チェアマン

大河正明



CALENDAR

B.LEAGUE 2019-20 SEASON CALENDAR



2019年

7月19日～20日	B.LEAGUE 新人選手研修 2019
8月14日～15日	B.LEAGUE U15 ALL-STARGAME 開催
9月14日-16日	東北、関東、北信越、東海、関西、西日本の6地区で B.LEAGUE EARLY CUP 2019 開催
9月20日	B.LEAGUE 2019-20 SEASON 開幕
9月22日	第9回 B.LEAGUE COACHING SESSION @HALEO DOME
9月29日	FIBA Asia Champions Cup 2019 アルパルク東京が優勝
10月3日	B.LEAGUE OPENING GAME 2019 - B1 “THE” GAME - 開催@横浜アリーナ

2020年

1月6日-8日	B.LEAGUE U15 CHAMPIONSHIP 2020 開催
1月11日-12日	B.DREAM PROJECT 2020 開催
1月17日	B.LEAGUE Hope ALL-STAR PROJECT 2020 ユニファイドスポーツフェスタ開催 @みなみの杜高等支援学校
1月18日	B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2020 開催 @北海きたえーる
2月26日	B.LEAGUE 2019-20 SEASON B1・B2リーグ戦延期を決定
3月11日	B.LEAGUE 2019-20 SEASON B1・B2リーグ戦 無観客での開催を発表
3月27日	B.LEAGUE 2019-20 SEASON 全試合中止を決定
5月8日-10日	B.LEAGUE AWARD SHOW 2019-20 開催
5月26日	B.LEAGUE 大河チェアマン辞任表明 次期チェアマン候補者 発表



THE NUMBER OF ATTENDANCE

シーズン入場者数総括

※2015-16シーズンの数字はB1.B2所属各クラブの旧リーグのシーズン入場者数から算出

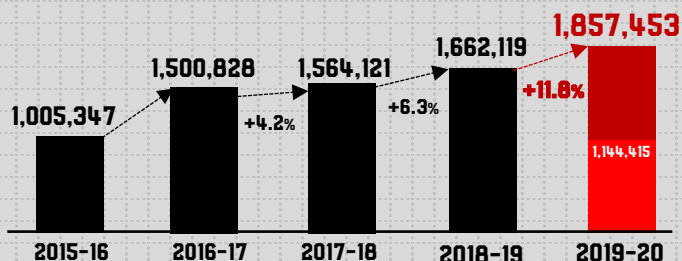


B.LEAGUE

全体入場者数は昨対比 **+6.8%** 増(推定値)。

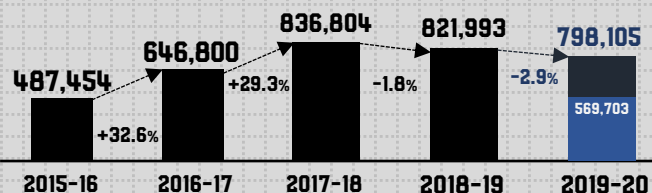
シーズンB1

+11.8% ※推定値



シーズンB2

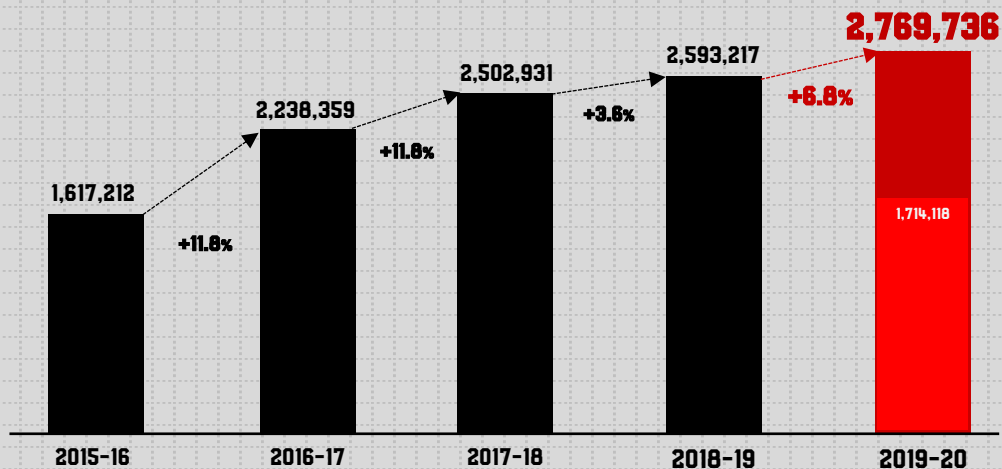
-2.9% ※推定値



OVER-ALL

(含むALL-STAR/POST SEASON)

+6.8% ※推定値



参考

シーズン総入場者数
推定値

2,769,736

+

EARLY CUP 2019

入場者数

38,640



2,808,376

※推定値の算出について B1・B2レギュラーシーズン 2019-20の中止開始節を起点に最終節までの入場者数伸び率(終盤の盛り上がり考慮)は、2018-19と同節から最終節までの入場者伸び率を適用=B1は111.8%を維持の試算、B2は97.6%の試算 PO関連 本来ならB2QFが追加となるが、昨年と同数の人数を適用

ATTENDANCE

THE NUMBER OF ATTENDANCE

シーズン入場者数に関する記録

※B1・B2レギュラーシーズン 2019-20の中止開始節（B1 23節、B2 24節）までの入場者数



B1

	2016-17 シーズン	2017-18 シーズン	2018-19 シーズン	2019-20 シーズン
年間最多 入場者試合	10,144人 5/27 B.LEAGUE FINAL 川崎 vs 栃木	▶ 12,005人 5/26 B.LEAGUE FINAL A東京vs千葉	▶ 12,972人 5/11 B.LEAGUE FINAL 千葉 vs A東京	▶ 9,514人 10/3 B.LEAGUE OPENING GAME 2019 川崎 vs 宇都宮
シーズン平均 入場者数	2,779人	▶ 2,897人	▶ 3,078人	▶ 3,260人 ※23節終了時点 昨年比 5.9% 増
シーズン最多 平均入場者数	4,503人 千葉ジェッツ	▶ 5,196人 千葉ジェッツ	▶ 5,204人 千葉ジェッツ	▶ 5,116人 千葉ジェッツ
シーズン最多 入場者試合	7,327人 5/3 千葉vs秋田 (千葉ポートアリーナ)	▶ 6,299人 5/6 北海道vs新潟 (北海きたえーる)	▶ 6,760人 4/21 大阪vs京都 (おおきにアリーナ舞洲)	▶ 6,472人 12/5 大阪vs千葉 (おおきにアリーナ舞洲)

B2

	2016-17 シーズン	2017-18 シーズン	2018-19 シーズン	2019-20 シーズン
年間最多 入場者試合	4,899人	▶ 4,909人 5/13 秋田vs熊本 (CNAアリーナ★あきた)	▶ 5,041人 4/6 茨城vs群馬 (アダストリアみとアリーナ)	▶ 4,007人 9/29 広島 vs 熊本 (広島サンブラザホール)
シーズン平均 入場者数	1,198人	▶ 1,550人	▶ 1,522人	▶ 1,407人
シーズン最多 平均入場者数	2,109人 熊本ヴォルターズ	▶ 2,897人 秋田ノーザンハピネッツ	▶ 2,567人 仙台89ERS	▶ 2,448人 仙台89ERS
シーズン最多 入場者試合	4,899人 4/30 熊本vs広島 (熊本県立総合体育館)	▶ 4,721人 3/17 秋田vs FE名古屋 (CNAアリーナ★あきた)	▶ 5,041人 4/6 茨城vs群馬 (アダストリアみとアリーナ)	▶ 4,007人 9/29 広島 vs 熊本 (広島サンブラザホール)

B.LEAGUE SNS

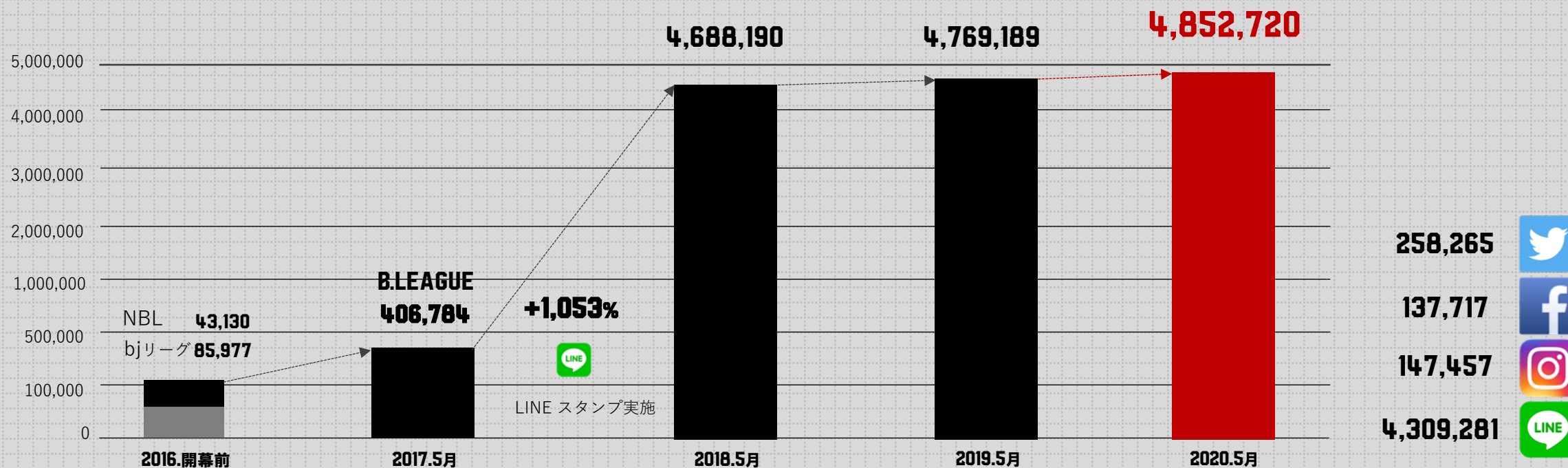
リーグSNSフォロワー数

※対象SNS：Facebook, Twitter, Instagram, LINE



B.LEAGUE

B.LEAGUE SNS フォロワー数 **480** 万人突破。



B.LEAGUE CLUB SNS

クラブSNSフォロワー数 ※対象SNS：Facebook, Twitter, Instagram,



B1・B2クラブの合計ファン数は約 **240** 万人突破。昨対比10%以上の成長

B1

	2017-18 シーズン	2018-19 シーズン	2019-20 シーズン
ファン数	1,436,969人	1,660,548人	1,871,715人
最多合計ファン数	232,497人 千葉ジェッツ	250,492人 千葉ジェッツ	269,964人 千葉ジェッツ
最多 ファン数	80,976人 千葉ジェッツ	80,347人 千葉ジェッツ	79,556人 千葉ジェッツ
最多 ファン数	134,353人 栃木ブレックス	140,817人 千葉ジェッツ	149,087人 千葉ジェッツ
最多 ファン数	18,562人 琉球ゴールデンキングス	29,328人 千葉ジェッツ	41,321人 千葉ジェッツ

B2

	2017-18 シーズン	2018-19 シーズン	2019-20 シーズン
ファン数	480,675人	495,929人	547,320人
最多合計ファン数	73,178人 秋田ノーザンハピネッツ	53,950人 熊本ヴォルターズ	56,589人 熊本ヴォルターズ
最多 ファン数	17,191人 広島ドラゴンフライズ	17,328人 広島ドラゴンフライズ	17,386人 広島ドラゴンフライズ
最多 ファン数	63,419人 秋田ノーザンハピネッツ	30,503人 熊本ヴォルターズ	32,017人 熊本ヴォルターズ
最多 ファン数	5,111人 ライジングゼファー福岡	6,171人 熊本ヴォルターズ	9,240人 広島ドラゴンフライズ

B.LEAGUE CLUB AWARD 2019-20

クラブ表彰



B.LEAGUE

B1

東地区

ALVARK
TOKYO

アルバルク東京



中地区

**KAWASAKI
BRAVE THUNDERS**

川崎ブレイブサンダース



西地区

RYUKYU

琉球ゴールデンキングス



2019-20
シーズン
地区優勝

B2

東地区

**SENDAI
89ERS**
EIGHTY-NINERS

仙台89ERS



中地区

**KATO
SHINSHU
BRAVE WARRIORS**

信州ブレイブウォリアーズ



西地区

**HIROSHIMA
DRAGONFLIES**

広島ドラゴンフライズ



2019-20
シーズン
地区優勝

OTHER

入場者数
No.1
クラブ



千葉ジェッツ

SNS最優秀
クラブ

**KAWASAKI
BRAVE THUNDERS**

川崎
ブレイブサンダース



ホスピタリティ
No.1
クラブ

**KAWASAKI
BRAVE THUNDERS**

川崎
ブレイブサンダース



B1 2019-20 SEASON RESULT

2019-20 シーズン B1リーグ戦

東地区

順位	チーム	勝	負	勝率
1	 アルバルク東京	32	9	.780
2	 宇都宮ブレックス	31	9	.775
3	 千葉ジェッツ	28	12	.700
4	 サンロッカーズ渋谷	27	14	.659
5	 秋田ノーザンハビネッツ	19	22	.463
6	 レバンガ北海道	13	27	.325

中地区

順位	チーム	勝	負	勝率
1	 川崎ブレイブサンダース	31	9	.775
2	 シーホース三河	18	23	.439
3	 富山グラウジーズ	17	24	.415
4	 新潟アルビレックスBB	13	28	.317
5	 横浜ビー・コルセアーズ	11	30	.268
6	 三遠ネオフェニックス	5	36	.122

西地区

順位	チーム	勝	負	勝率
1	 琉球ゴールデンキングス	27	14	.659
2	 大阪エヴェッサ	26	15	.634
3	 滋賀レイクスターズ	21	20	.512
4	 京都ハンナリーズ	20	21	.488
5	 名古屋ダイヤモンドドルフィンズ	17	24	.415
6	 島根スサノオマジック	11	30	.268

B2 2019-20 SEASON RESULT

2019-20 シーズン B2 リーグ戦

東地区

順位	チーム	勝	負	勝率
1	 仙台89ERS	35	12	.745
2	 群馬クレインサンダーズ	34	13	.723
3	 茨城ロボッツ	26	21	.553
4	 青森ワッツ	21	26	.447
5	 福島ファイヤーボンズ	16	31	.340
6	 山形ワイヴァンズ	8	39	.170

中地区

順位	チーム	勝	負	勝率
1	 信州ブレイブウォリアーズ	40	7	.851
2	 西宮ストークス	29	18	.617
3	 フイーグルス名古屋	25	22	.532
4	 東京エクセレンス	21	26	.447
5	 越谷アルファーズ	15	32	.319
6	 アースフレンズ東京Z	12	35	.255

西地区

順位	チーム	勝	負	勝率
1	 広島ドラゴンフライズ	40	7	.851
2	 香川ファイブアローズ	27	20	.574
3	 愛媛オレンジバイキングス	24	23	.511
4	 熊本ヴォルターズ	20	27	.426
5	 バンビシャス奈良	18	29	.383
6	 ライジングゼファー福岡	12	35	.255

B1 LEADERS

B1リーダーズ表彰



B.LEAGUE

得点王



23.4
POINTS

シーホース三河
#54 ダバンテ・ガードナー

アシスト王



6.5
ASSISTS

千葉ジェッツ
#2 富樫 勇樹

スティール王



1.8
STEALS

サンロッカーズ渋谷
#9 ペンドラメ 礼生

リバウンド王



13.3
REBOUNDS

琉球ゴールデンキングス
#45 ジャック・クーリー

ブロック王



1.5
BLOCKS

川崎ブレイブサンダース
#35 ジョーダン・ヒース

ベスト3P成功率賞



47.2
%

京都ハンナリーズ
#16 松井 啓十郎

ベストFT成功率賞



97.4
%

シーホース三河
#14 金丸 晃輔

B2 LEADERS

B2 リーダーズ表彰



B.LEAGUE

得点王



30.0
POINTS

愛媛オレンジバイキングス
#11 チェハーレス・タブスコット

アシスト王



9.3
ASSISTS

熊本ヴォルターズ
#11 石川 海斗

スティール王



1.7
STEALS

フイーグルス名古屋
#11 杉本 慶

リバウンド王



15.0
REBOUNDS

香川ファイブアローズ
#42 ケビン・コッツァー

ブロック王



2.1
BLOCKS

信州ブレイブウォリアーズ
#50 ウェイン・マーシャル

ベスト3P成功率賞



42.8
%

広島ドラゴンフライズ
#24 田中 成也

ベストFT成功率賞



92.8
%

バンビシャス奈良
#23 横江 豊

B.LEAGUE 2019-20 SEASON BEST 5

2019-20 シーズンベスト5



B.LEAGUE



宇都宮ブレックス
#22 ライアン・ロシター



千葉ジェッツ
#2 富樫 勇樹



アルバルク東京
#24 田中 大貴



川崎ブレブサンダース
#0 藤井 祐真



シーホース三河
#14 金丸 晃輔



B.LEAGUE 2019-20 SEASON

MVP



アルバルク東京
#24 田中 大貴

B.LEAGUE 2019-20 VARIOUS AWARDS

個人表彰/特別表彰



B.LEAGUE

最優秀審判賞



加藤 誉樹

ベスト6thマン賞 ベストディフェンダー賞



川崎ブレイブサンダース #0 藤井 祐真

最優秀新人賞



富山グラウジーズ
#13 前田 悟

新人賞ベスト5



富山グラウジーズ
#13 前田 悟



千葉ジェッツ
#4 コー・フリッピン



三遠ネオフェニックス
#0 河村 勇輝



シーホース三河
#11 熊谷 航



滋賀レイクスターズ
#6 シェ・ファー・アウイ・幸樹

ベストダフショット賞



サンロッカーズ渋谷
#27 石井 講祐

レギュラーシーズンMIP



横浜ビー・コルセアーズ
#21 田渡 凌

BREAK THE BORDER賞



アルバルク東京
#94 CUE4

馬場 雄大

マスコットオブザイヤー



千葉ジェッツ
ジャンボくん

功労賞



レバンガ北海道
#9 折茂 武彦

B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2020 IN HOKKAIDO



B.LEAGUEのオールスターゲームは、地域創生と革新性という2つのコンセプトで地域から日本を元気に、笑顔にしていこうと、直接的に深く革新的な表現でバスケットボールの楽しさを伝えていくことをテーマに、毎年開催されるバスケットボールの祭典です。



B.LEAGUE ALL★STAR GAME 2020 IN HOKKAIDO CONCEPT B.STYLE × 未来都市

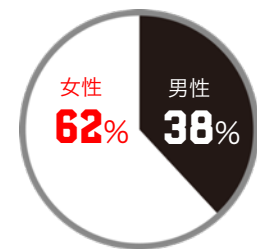
開幕初年度は、東京の国立代々木競技場第一体育館で実施。10,000人弱のファンが駆けつけ大成功をおさめました。そして、2018年に復興支援を軸に開催された熊本オールスターでは、選手達が熊本地震/九州北部豪雨被害にあった地域を訪問し、被災地の方々と触れ合い、オールスターゲームでは大いに会場を盛り上げました。3度目は富山県富山市で開催。そして4年目となる今回は北の大地 北海道札幌市で開催。道、市、リーグが一丸となって、北海道から日本を元気にすべく様々な取り組みが行われました。



■入場者数： **5,073**名 富山4,051名 昨対： **125%**

2分で即完売 ※開幕以来4年連続の即日完売

ATTRIBUTE



男性平均： **39.4**歳 (昨年**43.7**歳)

女性平均： **39.0**歳 (昨年**32.2**歳)

購入者約 **70%**が北海道在住



123

30 1Q 32
39 2Q 31
16 3Q 28
38 4Q 26

117

SKILLS CHALLENGE レバンガ北海道 **#8** 多嶋朝飛

DUNK CONTEST サンロッカーズ渋谷 **#2** セバスチャン・サイズ

3-POINT CONTEST シーホース三河 **#14** 金丸晃輔



B.LEAGUE HOPE

スポーツリーグとして日本初の社会的責任活動プロジェクト。
ステークホルダーとともにさまざまな社会的責任活動を「B.LEAGUE Hope」と称し、推進していきます。



B.LEAGUEは、環境・貧困・ジェンダーなど、直面する社会問題にも取り組みます。- Off-Court 3Point Challenge - 国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」に向かって、「Planet(地球)」「Peace(平和)」「People(人類)」の3つの領域で活動したり、初年度のオールスターゲームでは、難病を抱えた子どもたちとご家族をご招待。昨シーズンの熊本オールスターでは、熊本地震や九州北部豪雨の被災地に選手が訪問。様々な支援活動を実施しています。



【2019-20シーズンの取り組み】

- | | |
|-----------------|--|
| 2019年6月23日 | 選手会復興支援活動in陸前高田 |
| 2019年7月29日 | 絆CUP in陸前高田 |
| 2019年10月 | 台風19号募金活動 |
| 2020年1月17日-18日 | 選手たちによるみなみの杜高等支援学校訪問 |
| | B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2020 IN HOKKAIDO |
| 2020年5月8日-6月19日 | 日本バスケットボール選手会、Wリーグ選手有志と B.Hopeの共同企画でクラウドファンディングを立ち上げ |



B.LEAGUE Hope×日本バスケットボール選手会×Wリーグ選手有志の初の共同プロジェクト

新型コロナによるこの状況下で子供たちに何かしたい…
選手たちのそんな想いから、共同企画でクラウドファンディングを立ち上げました。
3月に開催予定だった、「全国U15バスケットボール選手権プレ大会」
「第51回全国ミニバスケットボール大会」が中止。憧れの舞台に向けて一生懸命練習していた子供や大会に出れないまま卒業してしまった子供たちに、
「これからもバスケットを続けて欲しい」という願いを込めてバスケットボールと憧れの選手からの応援メッセージ動画をプレゼントいたします。

BASKETBALL DEVELOPMENT

強化育成 PROJECT

世界に通用する選手やチームの輩出を目的とした、様々なプロジェクト。



22歳以下の才能ある若い選手が、プロの世界に挑戦できるB.DREAMプロジェクトや、クラブユース文化の構築と醸成を目的としたU15世代の育成プロジェクトを進行中。U15チャレンジカップにおいては、海外チームを招集し、世界レベルの経験を提供。コーチの養成にも力を入れ、さらなる育成環境の充実を目指します。

【2019-20シーズンの取り組み】

2019年8月13日～8月15日	アリーナ立川立飛	B.LEAGUE U15 ALL-STAR GAME
2019年9月22日	HALEO DOME	第9回 B.LEAGUE COACHING SESSION
2020年1月6日～1月8日	スカイホール豊田	B.LEAGUE U15 CHAMPIONSHIP 2020
2020年1月11日～1月12日	文京区総合体育館	B.DREAM 2020
2020年2月13日～2月17日	仁川三山ワールド（韓国）	B.LEAGUE U15選抜海外派遣事業 （2020 KBL YOUTH CHAMPIONSHIP）

B.LEAGUE U15 ALL-STAR GAME



初開催となった「B.LEAGUE U15 ALL-STAR GAME」。B.LEAGUEのU15チームから推薦された選手40人が同じくU15チームから選抜された4名のヘッドコーチのもと、東西南北に分かれチームを結成し試合を行った。また、NBAのコーチからのクリニックや選手研修なども行った。



B.LEAGUE U15 選抜海外派遣事業



B.LEAGUE U15選抜チームを初めて結成し、参加した「2020 KBL YOUTH CHAMPIONSHIP」。B.LEAGUEのU15チームから選抜された選手12人、スタッフ3名が韓国のKBLクラブの下部組織や中学校と対戦。全ての試合に勝利し優勝した。また、八重樫ショーン龍（岩手U15）選手が大会MVPを受賞した。

B.LEAGUE U15 CHAMPIONSHIP 2020



2019年度大会は34チームが出場。全てのU15チームが着実に実力をつけている中、決勝は昨年同様、宇都宮ブレックスU15と横浜ビー・コルセアーズU15の対戦となり、見事宇都宮ブレックスU15が連覇を果たした。また今大会では、大会期間中に現役日本代表選手・スタッフによるトークセッション、選手研修、保護者プログラム、コーチ講習会が開催された。

特別指定選手

2019-20シーズンでは52名の選手が特別指定選手として活動。高校生ながら新人賞ベストファイブに選出された河村勇輝選手も、この制度を活用しBリーグのコートに立った選手の1人。

AGAINST COVID-19

新型コロナウイルス感染症の影響によりシーズン中断、大幅な機会喪失を余儀なくされる中、B.LEAGUEひいてはバスケットボールファンの方々に向けた様々な取り組みに挑戦してまいりました。



B.LEAGUE EVERYWHERE

北海道から沖縄まで全国各地で繰り広げられる熱戦をファンみなさまに予定通りにお届けできない難局を乗り越えていくために、B.LEAGUEをいつでも、どこでも楽しんでもいただくことと日常でもみなさまのそばにB.LEAGUEの存在を感じていただくことをコンセプトに、本来であれば試合のあった期間に様々なコンテンツを展開

01 映像コンテンツ

見たい時に、見たい場所でB.LEAGUEを楽しもう！



B.LEAGUE全36クラブの選手たちからファンの皆さまへ感謝を綴った「B.LEAGUE 2019-20 "FROM PLAYERS, FOR YOU"」

期間限定の生配信番組も。選手はリモートでオンライン出演

02 バスケットにチャレンジコンテンツ

自宅でもできるボールを使った挑戦ができる！



03 「衣食住」日常でもバスケット

各種コラボレーショングッズ、選手へのメッセージ企画も



B.LEAGUE AWARD SHOW 2019-20

B.LEAGUE AWARD SHOWは過去3年間、屋外のパブリックスペースなどでイベント開催してきたが、2019-20シーズンを戦い抜いた選手を讃え、表彰するシーズンの締めくくりをできるだけ多くのファンの方にお届けするため、選手のリモート出演など配信の形式で3日間にわたり開催。





B.LEAGUE

THANK YOU FOR ALL